

地元根ざした楽しいラリーイベント



2日目の昼食時に立ち寄ったタラサ志摩は、海に面した美しいリゾート施設。玄関前のクルマ寄せに参加車両が円形に並べられた。



EVENT REPORT
05

第8回 ヒストリックカーミーティング イン 伊勢志摩

@伊勢志摩

2013/12/7~8

文：中島秀之 撮影：山本佳吾



初日のスタート地点は津のメッセウイングみえ。ここから伊勢自動車道を使って、伊勢志摩方面を目指す。車両はジャガーXK120。

快音を発しながら走る1972年式マセラティ・ギブリSSスパイダー。125台しかないスパイダーの1台で貴重なハードトップ付き。



ワインディングに行く1954年式フィアット1100TV。50PSにチューンされたエンジンを搭載する4ドアセダンの高性能仕様。

伊勢志摩の自然と料理を満喫
有料道路の貸切走行も実施！

年2回、東海地方で行われている、ヒストリックカーミーティング。8回目の開催となる今回は、毎年12月初旬に行われて参加者からの人気が高い伊勢志摩が舞台。しかも今年は、伊勢神宮が20年に一度の式年遷宮とあって、60台近いエントリーを数えた。

12月7日の朝、津のメッセウイングみえをスタートした参加者は、長島を経由して南伊勢町に向かい、賢浦漁港にて昼食とPC競技。更に同町文化会館前でもPC競技を行って再スタート。一路伊勢神宮へと向かった。式年遷宮で大混雑の神宮だが無事全参加者が参拝を終了。その後志摩のともやま公園でのPC競技を経て、ホテル近鉄アクアヴィラにゴール。この日の夜はパーティが行われ、楽しいアトラクションが多数披露された。

翌日志摩をスタートし、御座白浜海岸を経て波切漁港でPC競技。更に阿児アリーナで公開PC競技を行った後、タラサ志摩で昼食。午後は伊勢志摩スカイラインを閉鎖して特別PC競技を実施。その後、津カントリークラブにゴールし、表彰式などが行われた。伊勢志摩の美しい自然と美味しい料理を満喫できる上、地元の方から温かい出迎えを受けるこのイベントは、とても魅力的に思えた。

こう見えて私
志摩市長です！



夜のパーティは様々な趣向が凝らされている。江戸時代の魚屋に扮したこの人物は志摩市長の大口秀和氏。自ら飾を揃えて振る舞った。



1967年式フィアット・ディーノ・スパイダー。オールアルミの2ドアクラスのV6ディーノ・エンジンをピンファミリー製のボディに搭載。



1975年式のローバー3500。P6のボディにV8エンジンを搭載したモデル。娘さんを連れての参加。ご家族での参加も多かった。



式年遷宮の年ゆえ、土曜日の伊勢神宮はご覧のように物凄い人出。それでも参加車両は近くに全車まとまって駐車することができた。



1958年式BMWイセッタ600。イセッタのボディを延長し後席と後ドアを設け600cc2気筒エンジンを搭載。ナビは後席に乗っている。



1953年式プリストル403。BMW326から派生した同社初期のモデルの最終型。2直60HVエンジンを搭載。281台作られた内の1台。



初日の昼食や二日目の公開PC競技会場では、地元南伊勢町の皆さんが手作りの料理でもてなしてくれた。どれも美味しいものばかり。



美しいワインディングが堪能できるのもこのイベントの魅力。車両は1971年式アルファ・ロメオ2000ベルリナ。